

事業活動実績報告書

施設名	明昭第二幼稚園
教育理念	○子どもたち一人ひとりの個性・発見・発想を大切に生きる力の基礎となる丈夫な身体とやさしい心、人とのかかわる力、たくましさを育てていく。 ○子どもたちの主体性を大切に、一人ひとりの個性、発達に応じた遊びを中心とした援助・保育をする。

事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	絵本の読み語り・絵本育を大切にする保育
2 実施期間	令和 6年 4月11日 ～ 令和 7年 3月31日

3 取組概要	(取組日) 令和6年 4月11日 ～ 令和7年 3月12日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・4月から月刊絵本こどものとも、かがくのともを購読。3歳児年少版、ちいさいかがくのとも、4歳児年中版、ちいさいかがくのとも又はかがくのとも(内容により選択)、5歳児年長版、かがくのともを購読し、各クラスで読み聞かせをする。 ・5月からはクラスではおはなし又は自然・科学の月刊誌を子どもたちと1冊選び、4月号から年間購読し、読み聞かせや自然観察をする。 ・園で購読した全ての月刊誌を職員室前の本棚に置き、全園児が好きな時に見られるようにする。 
	(取組日) 令和6年 4月15日 ～ 令和7年 3月12日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・クラスで子どもたちに読み聞かせた絵本の記録をとる。読んだ日付、絵本のタイトル、作者、出版社と子どもたちの様子や反応などを記す。 ・絵本の記録は園でクラス担任に配布した読書ノート(100冊記録可)もしくはパソコンで一覧(絵本の表紙画像付)にして記録する。各クラスで工夫を凝らした。 
	(取組日) 令和6年 5月13日 ～ 令和7年 3月12日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・職員室前のテーブルを利用し、絵本や絵本に関するグッズを展示する。 - 月刊えほんに関連したシリーズものや同じテーマの絵本や同じ作者の他の絵本、おはなしに登場する主人公・キャラクターのぬいぐるみなどを展示する。 - 例)『ぞうくんのさんぽ』のシリーズ絵本とぬいぐるみ展示(写真) 
	(取組日) 令和6年 6月28日 ～ 令和7年 3月31日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・こどものとも社のオンライン園内研修を視聴し、絵本の力や発達に沿った絵本について学ぶ。取組日は視聴期間。期間内に保育者が個々に視聴する。 「学びに向かう力・豊かな人間性を育む」講師：瀧 薫(大阪芸術大学短期大学部教授)。基本編で家庭での絵本の選び方・楽しみ方を応用編で発達にそった、絵本の選び方を学ぶ。各40分程度の内容。基本編は大切な絵本の力、効用などがやさしく語られており、保育者の学びとしても必要な内容。保育者が視聴・保育活用した後、3月に家庭へも配信する。 オンライン視聴 画像転写不可

3 取組概要	(取組日) 令和6年 9月 4日 ~ 令和6年 9月 4日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・保育者研修会を午後3時~4時30分、3歳児保育室で実施。テーマ「絵本を保育に活かすために」講師:菅原 久子先生(江戸川双葉幼稚園図書館長)。長年、園長として絵本の読み聞かせの保育実践をされている講師による絵本の効用と実践紹介。活動とともに良い絵本、月刊絵本の繰り返し読みについても学ぶ。園の図書環境見学後にアドバイスをいただき、絵本についての疑問や質問にも答えていただく。	画像なし
	(取組日) 令和6年9月 1日 ~ 令和7年 3月12日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・職員室前のテーブルの上に、絵本紹介・絵本グッズの展示とともにダンボール箱、小箱の本棚を置き、園児も保育者も自由に箱から出して見られるようにする。小箱の本棚には月刊雑誌Kodomoのふろくえほん(小冊子)を収納。他にも面白いと思う月刊えほんをダンボール箱に収納し、自由に読めるようにした。 ・職員室内の職員の机の上にダンボール箱を置き、絵本大賞の候補の絵本と新刊絵本20冊ずつを収納。職員へ貸し出した。	
	(取組日) 令和6年12月 2日 ~ 令和7年 2月26日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・2025 みんなのよみかせ絵本大賞 園児さんと先生で選ぶ! よみかせ絵本部門(コープさっぽろ主催・全日本私立幼稚園連合会後援)に参加し、園の絵本大賞を選出する。 候補となる20冊の絵本を贈っていただき、取り組み期間の2ヶ月半の間、各クラスで読み聞かせ、クラスごとに絵本大賞を選出し、それらを持ちより園全体で絵本大賞を選ぶ。 20冊の絵本の表紙を掲示板に展示し、園児が見られるようにした。	
	(取組日) 令和7年 2月27日 ~ 令和7年 2月27日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・劇団こぐま座の着ぐるみ人形劇「おむすびころりん」を全園児が2階ホールで観劇。絵本で親しんできたおはなしの人形劇を見る。 人形劇の前後にクラスで、「おむすびころりん」の絵本を読み聞かせする。	
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの

効果検証報告書

施設名	明昭第二幼稚園		
教育理念	○一人ひとりの個性・発見・発想を大切に生きる力の基礎となる丈夫な身体とやさしい心、人と関わる力、たくましさ育てる。○遊びを中心に子どもの主体性を大切に一人ひとりの個性、発達の姿に応じた援助・保育をする。		
事業の区分(5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現		
1 事業名	絵本の読み語り・絵本育を大切にする保育 ～子どもたちのことば・想像力・表現力・心を育む(絵本育)～		
2 事業概要	絵本が身近にある環境(職員室前、1・2階絵本コーナー、3階図書室)を活かし、園児の興味や関心を高め、絵本の読み語りを通して絵本に親しみ、想像力や心を育てる(絵本育)。子どもの心を育てる絵本の力や大切さについて研修を実施し講師から学ぶ。園児を対象とした観劇会により園での絵本体験を深め、想像力を養う。読み聞かせ記録をとり園児の様子を観察。繰り返し読みや多くの絵本に親しむ。2025「みんなのよみきかせ絵本大賞」に参加。20冊の絵本から大賞を選ぶ。		
計画時	3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 ・月刊誌を購読し、毎月クラスで読んだり、職員室前に展示し見られるようにする。絵本に関する展示紹介も適宜行う。日々の読み語り(読み聞かせ)はそれぞれ、各クラスで担任が行う。絵本を頻繁に購入し、いろいろな絵本に子どもたちが出会えるようにする。 ・講師による研修は2階ホールで実施したり、オンライン視聴する。オンラインは保護者も視聴できるようにし、家庭での環境も整える。 ・絵本読み語りの記録(読書ノート)を録るため、読書ノートを担任に配布。 ・「みんなのよみきかせ大賞」では候補の20冊の絵本表紙を玄関に掲示し、子どもたちが興味・関心を持てるようにする。選んだ結果も発表する。	
	事業後 3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・月刊誌の購読、絵本の購入、絵本を子どもたちの周囲に置く、絵本展示、絵本大賞の選出などで多くの絵本に親しめ、子どもたちの興味・関心が広がった。読み語りを通し、楽しさを共有し、豊かな想像力や心の育ちが見られた。 ・読み語り記録(読書ノート)により子どもたちの観察や、絵本の効用を知ることでき、保育者の絵本・絵本育に対する興味・関心も深まった。 ・講師による研修は保育者の学びとなったが、保護者もオンライン視聴できるようにすることで保護者に絵本の大切さ・絵本育への理解を促すことができた。 ・「おむすびころりん」を絵本と劇で楽しみイメージが深まり、違いに気づくことで感性と表現力が養われた。	
計画時	4 事業のねらい	・絵本の読み語りによる心揺さぶられる体験を通し、ことば・想像力・表現力・豊かな心を育てる。 ・外部講師による職員研修で、読み語りの技術、絵本の効力を知り、保育実践に活かす。 集団での読み語りについて学ぶ。繰り返し読みについて学び実践に活かしていく。 ・絵本を表現活動や造形活動につなげていく。 ・おはなし会や観劇を通し絵本への興味・関心を高め、おはなしや絵本のイメージ(想像力)を深めていく。 ・園の図書室を利用した絵本の貸し出しにより、家庭でも読み語り体験をすることで絵本育の効果を広めていく。	
	事業後 4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 絵本の読み語りの効果は、絵本、作者、読み語り日、子どもたちの様子などを記録することで検証することにした。どのような絵本に興味を持ったかなど把握できた。おはなしに入り込み登場人物になりきることや心の育ち(やさしい心)は育まれた。研修により絵本の効力や繰り返し読み、保育実践法・活用法などを学び、試してみることができた。観劇会により絵本から得た子どもたちの2次元のイメージが3次元の立体イメージに広がり、おはなしがより身近なものになった。オンライン研修は家庭へ配信し、家庭の読み語り実践につなげていった。今後いろいろな絵本の世界を楽しみながら、ことば、想像力、表現、豊かな心を育む読み語りをしていきたい。	

5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 ・各クラスで保育者が園児に絵本を読み語りする。使用した絵本や子どもたちの反応を記録にとり読み語りの効果を検証する。 ・昨年度の講師による研修で紹介された幼児の発達に応じた絵本を選び、読み語りする。 ・絵本の繰り返し読みに挑戦し、その効果を検証する。(各クラスで年間3冊は実施予定) ・講師による職員研修で読み聞かせの仕方(繰り返し読み)や活用法など保育実践を学ぶ。 ・園児向のおはなし会、人形劇観劇により絵本のイメージを膨らませたり、深めたりする。 (担任以外の読み語りを体験する。絵本のおはなしを人形劇で見るなど)
---------	--

事業後 5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 読書ノートやパソコンに日々、読み語った絵本のタイトルや子どもの姿を記録することで、今、子どもたちがどのような絵本に興味があるのか、どう感じたかを知ることができた。また、保育者が選書について考えるきっかけとなった。講師による研修は保育実践を知ることができ、参考となった。絵本の読み方やくりかえし読みの必要性、絵本の効力、年齢に応じた絵本の選書をオンラインで学び、保育に活かすために教員間で話し合うきっかけとなった。人形劇観劇も絵本でのイメージの違いやイメージを膨らませる機会となった。次年度は、担任以外の読み語りも経験し、同じ絵本でも印象が違ったり子どもたちの感性やイメージを刺激する働きかけをしたい。
--------------------	---

計画時 6 環境構成	・絵本の読み語りをする各クラスの保育者、おはなし会、人形劇演者。(おはなし会では担任以外の読み語りを体験。おはなしの世界を楽しむ。絵本をもとにした人形劇を観劇、絵本のおはなしのイメージを膨らませる。) ・保育者研修で外部講師から繰り返し読みの効果や読み語りの効力、読み語りの方法や工夫、活動への展開などを学ぶ。 ・月刊絵本、大型絵本、読み語りに必要な絵本を活用して状況に応じて読み語りをする。(月刊絵本は年齢にあったもので月ごとにクラスで1冊購入し、読み語りする。人数が多くて見づらい場合は人数を分けて読み語りする。大型絵本は集団の中での読み語りで使用。クラスやホールで使用する。) ・読み語りに必要な絵本(講師が紹介している絵本や季節の絵本、新刊絵本など)を選書し、購入する。 ・読み語り記録用紙(読書ノートやパソコン用紙)を使い、クラスで読み語った絵本の題名、作者、出版社、読み語り日、幼児の様子などを記録する。
---------------	---

事業後 6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 いろいろな絵本にふれる環境づくりとして月刊誌の購読や職員室前や職員室内にダンボール箱を使った簡易本棚を設置し、自由に見ることが出来るようにした。保育者、子どもたちが興味を持って、いろいろな絵本を楽しむことができた。 観劇を通して絵本のイメージとの比較やいろいろな表現があることを知ることができた。 読み語りした絵本の記録をとることで、子どもの様子や人気のある絵本などがわかり、選書をする参考となった。講師の研修会は絵本を保育実践に活かす方法や絵本の効力、繰り返し読みなどの参考となり、実践に活かすのに役立った。 次年度は心に残る心を育む絵本を読み語り、子どもたちに担任以外の読み語りの機会も設けていきたい。
--------------------	---

7 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 ・絵本を通して、色々な事物や事柄に興味を持つようになる。 ・絵本の中の登場人物や動物になりきることで、いろいろな立場を経験し、共感したり、相手のことを思ったり、豊かな心が育まれる。 ・絵本の中の豊かなことばを聞き言葉が育つ。 ・絵本をきっかけに体を動かしたり、言葉のニュアンスを楽しんだり、劇遊びをしたり表現活動が生まれる。 ・クラス、集団での読み語りを通して、園児同士のコミュニケーションが深まり、共感力が高まる。 ・話を聞く姿勢が形成される。 ・観劇を通して、絵本のお話との表現法やイメージの違いを感じておはなしの印象がより深まる。
事業後	7についての効果・検証 事業実績から推測される効果や改善点等 いろいろな絵本に出会える環境を用意したため、保育者や子どもたちの興味・関心が深まった。科学絵本は身近な生き物や事象に興味を持つきっかけをもたらし、子どもたちが観察する姿が見られた。集団での読み語りにより、おはなしの世界を共有し、互いの感想などを言い合ったり、面白かったフレーズを言い合う姿が見られた。絵本の中の動きをまねたり、歌を歌ったりして楽しんでいた。劇遊びには広がらなかったが、観劇により表現のイメージが高まった。 今後も絵本の体験が豊かな言葉や表現につながるよう保育実践を考え行っていく。 次年度は絵本づくりにも挑戦してみたい。
8 効果検証 総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて 日々のクラスでの読み読みの実践記録をつけることで、子どもたちの興味・関心、姿、何を感じたか、反応などを見ることができた。記録を見返すことで、子どもたちが好きな絵本やどのような絵本が子どもの心に残るか、保育者の選書の傾向を知ることができた。いろいろな絵本を楽しむことで様々な子どもたちの感性、感情を育むために役に立った。オンラインセミナーや研修会の成果は絵本の年齢ごとの楽しみ方や保育実践を学ぶことで選書や日常の遊びに活かすことができた。くりかえし読みの実践や心を育む絵本について今後も学んでいきたい。 「おむすびころりん」の観劇では、絵本との違いからイメージが広がる、様々な表現法を知るきっかけが得られ、想像・表現力が深まった。食育のおにぎりづくりもおはなしを身近に感じる体験となり、理解が深まった。2025みんなのよみきかせ絵本大賞への参加は、いろいろな絵本を体験するとともに、表紙を掲示することで園全体で子どもたち同士が絵本のイメージを互いに伝え合い語り合う経験ができ、園児同士のコミュニケーション、共感力が育まれた。読み語りを通して、話を聞く姿勢を身につけ、身をのりだして絵本に集中する子どもたちの姿や身体を揺さぶり感情表現する想像力豊かな姿、読後のつぶやき、発言や感想を述べる姿が見られた。集団での読み語り体験が共感やコミュニケーションを深めることが示され、効果のほどを実感できた。オンラインセミナーは家庭へも配信し、家庭での読み読みを広めるきっかけとなった。職員室前や職員室内にダンボールの絵本箱を設置し、絵本に関する展示をするなど絵本に触れる機会を設けたが、次年度は蔵書を整理し、季節・年齢に応じ、絵本を有効に活用し、引き続き絵本の読み語りを通して子どもの心を育み、諸活動への発展を考えて行きたい。